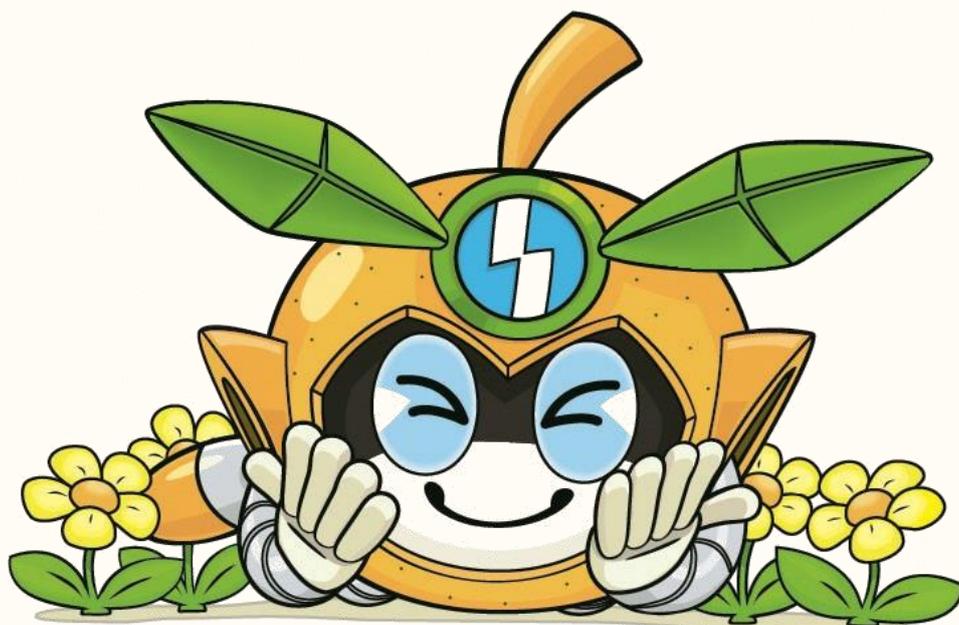


いなぎし
稲城市

けいかく
こども計画

えがお
～笑顔あふれる「こどもまんなか」のまち
いなぎ
稲城～

がいようばん
(わかりやすい概要版)



©K.Okawara・Jet Inoue

れいわ ねん がつ
令和7年3月

いなぎし
稲城市



いなぎし けいかく 「稲城市こども計画」とは…

この計画は、稲城市が、すべてのこどもや若者が自分らしく幸せに大きくなって、安心してらせるように、どんな取り組みをしていくかを書いたものです。



けいかく 計画でやりたいこと

きほんりねん <基本理念>

えがお ~笑顔あふれる「こどもまんなか」のまち いなぎ 稲城~

こどもたちが、これからも心も体も元気で幸せにらせるような「こどもまんなか社会」を作ることを目指します。



しゃかい 「こどもまんなか社会」とは

「こどもまんなか社会」というのは、こどもたちが安心して楽しく暮らせるように、大人がみんなで協力して考え、助け合う社会のことをいいます。こどもの声や気持ちを大切にしながら、みんなが幸せに過ごせるようにするために、一緒にたくさんアイデアを出していきます。



けいかく いつからいつまでの計画なの？

「稲城市こども計画」は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間でを行います。

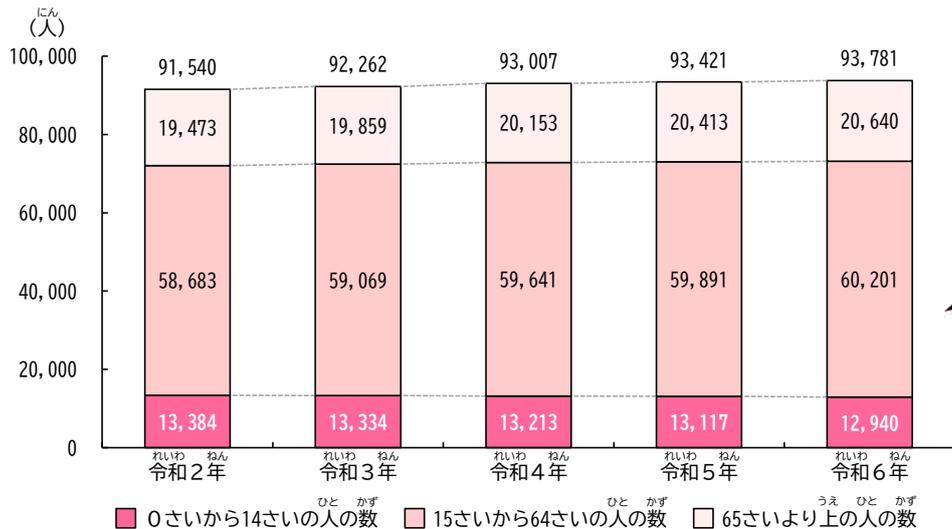
れいわ ねんど 令和7年度 (2025年度)	れいわ ねんど 令和8年度 (2026年度)	れいわ ねんど 令和9年度 (2027年度)	れいわ ねんど 令和10年度 (2028年度)	れいわ ねんど 令和11年度 (2029年度)



いなぎし す 稲城市に住んでいる人の数

● いなぎし す 稲城市に住んでいる人の数はどうやって変わってきたか

れいわ 令和6(2024)年に稲城市に住んでいる人の数は93,781人です。令和2年と比べると、毎年少しずつ増えています。

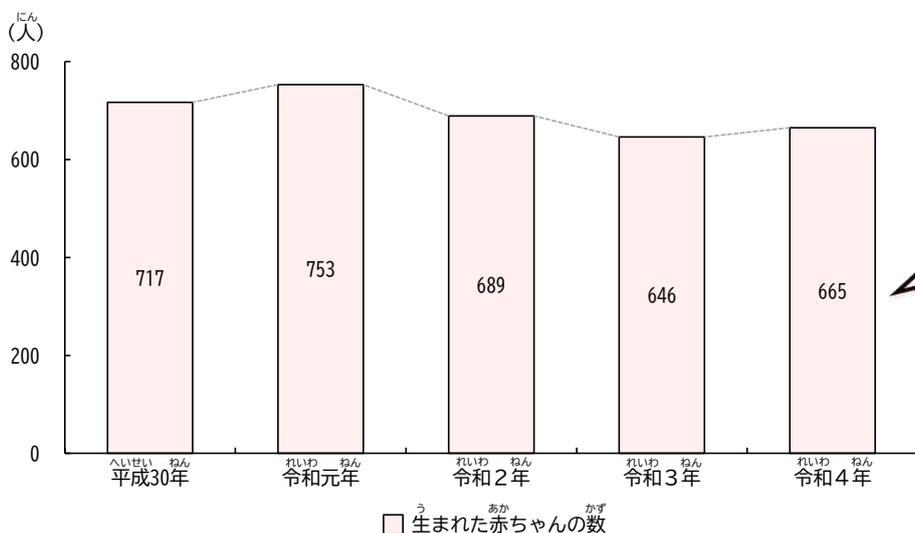


0歳から14歳の人の数が、少しずつ減っています。

(各年1月1日のとき)

● いなぎし う 稲城市で生まれた赤ちゃんの数

れいわ 令和4(2022)年に稲城市で生まれた赤ちゃんは665人でした。平成30(2018)年と比べると、ほとんどの年で少なくなっています。



コロナウイルス感染症が広がった令和元年から、生まれる赤ちゃんの数が減っています。



いけん き こどもの意見を聴きました

しやくしよ ひと
市役所の人が、こどもたちの意見を聴いて、市がやることに活かすために、
こどもたちにあんしんできる場所や、ばしよ いごこちよ ばしよ
居心地良い場所がどんなところか、そして困
とき そうだん ひと
った時に相談できる人がいるかどうかを聴きました。

き と けっか ● 聴き取りの結果

(1) こどもの居場所について

いばしよ よ
こんな居場所があると良いな！

い こち かん ばしよ
～よく行くところや心地よいと感じる場所は？～



だい い
第1位

こうえん
公園(40.1%)

だい い
第2位

じどうかん がくどう
児童館・学童クラブ(39.2%)

だい い
第3位

つうがくろ
通学路(23.5%)

(2) なやみ そうだんしえん 悩みの相談支援について

ひと そうだん
どんな人に相談したい？



だい い
第1位

がっこう せんせい
学校の先生(48.6%)

だい い
第2位

がくどう じどうかん おとな しよくいん
学童・児童館の大人(職員)(25.0%)

だい い
第3位

スクールカウンセラー(23.5%)

●^{きと}聴き取りから分かったこと

いなぎし ちか こうえん あんしん ばしょ かんが なや
稲城市の子どもたちは、近くの公園などを安心してできる場所と考えていて、悩
みがある時は、^{とき}学校の^{がっこう}先生^{せんせい}などに^{そうだん}相談していることがわかりました。

子どもたちが^{あんしん}安心して^{こうえん}公園^{つか}を使えるようにし、^{なや}悩みがある^{とき}時にはいつでも
^{そうだん}相談できるようにします。





たいせつ

もくひょう

きほんもくひょう

大切にしている4つの目標（基本目標）

きほんもくひょう

おう

き

め

しえん

すいしん

基本目標1 ひとりひとりに応じた切れ目のない支援の推進

- (1) こどもが安全に、安心していただける場所を用意します。
- (2) こどもを育てたり、こどもが勉強するのにかかるお金の負担を減らします。
- (3) こどもがお母さんのおなかの中にいるときから、大人になるまで、親子が安心して暮らせるようにサポートします。
- (4) 障害があってもなくても、すべてのこどもや若い人たちが安心して暮らせるようにサポートします。
- (5) お父さんかお母さんが一人でこどもを育てているおうちをサポートします。

きほんもくひょう

わかもの

けんり

さいぜん

りえき

すいしん

基本目標2 こども・若者の権利と最善の利益を推進

- (1) こどもや若い人の権利が守られるようにして、こどもや若い人が自分の意見を言える場をつくれます。
- (2) こどもが暴力を受けたり、嫌な思いをしたりしないよう、たくさんの大人たちが協力してこどもの安全を守ります。
- (3) 生活に困っているこどもやそのおうちのお金の負担を減らします。

基本目標3 子育てにやさしい環境の整備を推進

- (1) たくさんの緑と水にふれあい、みんなが仲良くなれる素敵なまちをつくり、そこでみんなが幸せを感じながら生活できるようにします。
- (2) 通学路や公園などで安全に過ごせるようにします。
- (3) こどもたちを犯罪や事故から守ります。

基本目標4 子育てに伴う喜びを実感できる地域づくりを推進

- (1) お父さんやお母さんが働きながら安心してこどもを産んで育てることができるように、お父さんもお母さんも一緒に子育てができる環境をつくれます。
- (2) こどもが仕事を体験したり、小さいこどもと関わったりする場をつくれます。
- (3) こどもやお父さん、お母さんの希望を大事にした教育のしくみをつくれます。
- (4) 地域で、いろいろなことを学んだり、体験したりできる場をつくれます。

inagicity



© K. Okawara · Jet Inoue